

「じんせい」400号を迎えて



社会医療法人仁生会
理事長 細木 秀美

社の松岡正一さんから紹介されたのが、「じんせい」の初代編集長、周藤春夫さんでした。実直で、有言実行の素晴らしい方で、彼と当時の細木清事務長と3

細木病院グループの情報誌「じんせい」は、昭和62年に創刊して以来、足かけ34年。このたび令和2年の春に、通巻400号を曲がりなりにも発刊できたことに感激しておりますとともに、これまでお世話になりました関係各位に心からお礼申し上げます。

人で、悪戦苦闘の末、院内コミュニケーションのツールとして、創刊号の発刊にこぎつけることができました。けれども当初はなかなか記事が集まらず、苦肉の策で書き始めたのが時事エッセーでした。それからこれまで34年間にわたって、職員だけでなく、患者様や地域の皆様にも親しまれ、毎月2300部も発行する情報誌に成長することができました。編集長も何代かの変遷がありますが、現在は木下浩一編集長になっていきます。グループの職員数も1300名を超える大きな組織となっています。「じんせい」が、職員間のみならず、病院間のコミュニケーションも取ってくれる橋渡し役になって、今これからも、職員に、患者様に、地域の皆様にお役に立つ情報誌として発展してもらいたいと思えます。

父、故細木高行が急逝した昭和61年6月、急遽、三愛病院から細木病院の院長となりました。それまでは、もっぱら患者様の診療ばかりでしたので、突然、細木病院グループ全体の財務、人事管理などの全権が、私の肩にのしかかりました。病院経営について何も分からず、しかも細木病院の職員は、私の知らない人ばかりでした。しかし逆に、職員も私のことを知らない人が多いことに気づきました。その当時、入会していた口

タリクラブの会員の高知新聞

令和2 (2020)年	令和元 (2019)年	平成30 (2018)年	平成29 (2017)年	平成28 (2016)年	平成27 (2015)年	平成26 (2013)年	平成25 (2013)年	平成24 (2012)年	仁生会の主な出来事（「じんせい」301号から400号まで）
4月号 「じんせい」400号到達	3月号 細木病院 元に戻して一緒に頑張ろう！ 11月号 細木病院と細木ユニティ病院(387号) 二愛病院 深田順一院長 三愛病院 中村寿宏院長就任(395号)	8月号 仁生会「高知県認証介護事業所に 認証されました！」(380号)	8月号 日高クリニック 外観リフォーム竣工(368号) 7月号 細木病院 「まごことネット細木オープン」(367号) 5月号 細木病院 「第1回学術集会在細木」開催(365号)	6月号 細木病院 防災士企画「第1回防災研修会開催！」 (354号)	2月号 細木病院 県下初3D画像対応型 モニター導入(350号) 4月号 三愛病院 深田順一院長就任(340号) 5月号 仁生会が社会医療法人(341号) 10月号 細木病院 堀見忠司院長就任(346号)	8月号 細木病院 地域連携推進センター発足(332号) 10月号 細木病院 新設！地域包括ケア病棟(334号)	10月号 三愛病院 耐震補強工事完成(322号)	8月号 細木病院 中国「延辺大学附属医院」 李副院長御一行来訪(308号)	

じんせい400号刊行に寄せて



三愛病院 副院長
坂本賢司

けでも、老人保健施設「あうん高知」やグループホーム「いろは丸」等ができて、この上に現在の仁生会があるという実感を持つことができて、帰属意識や仲間意識を高める源のようにも感じます。

「じんせい」が第400号を迎えました。私は第16号、昭和63年4月からずっと愛読しています。当時は高知新聞社OBの周藤氏が編集長。普及し始めたワープロ専用機を使い、苦勞して記事を書いていたら聞いています。その頃のワープロは、まだ熟語変換が精いっぱい、液晶画面も電卓と同じ、たったの一行でした。

「仁生会グループ」を支え、成長させてきたさまざまな職種の方々の職員の活動が見取れます。現在の「仁生会グループ」にいたる長い歩みの記録でもあります。「仁生会ビジョン」は「ライフステージと病気を問わず、寄り添える医療法人」とうたっていて、時代に合わせた変化や変遷は当然の帰結であるとも言えます。「じんせい」を通して、諸先輩方の作り上げた成果にふれ、その

医療、福祉や介護の制度は、時代の変化や社会の要請でめまぐるしく変化してきました。三愛病院の介護関連の施設だ



細木病院 こころのセンター
看護部長 岡崎郁子

仁生会情報誌「じんせい」400号の発行、おめでとございます。今回、原稿依頼を受け、昭和62年1月に創刊された「じんせい」や、「仁生会の歩み（仁生会創立50周年記念誌）」を読み返し、懐かしい思い出や時代に合わせて変革してきた仁生会が脳裏に浮かんできます。

私は、昭和56年に仁生会細木病院に入職させていただきました。平成9年4月、細木病院より精神科が独立して細木ユニティ病院となり、それから22年後の平成31年4月、細木病院と再統合して細木病院の中の精神科（こころのセンター）となりまし

た。その22年間、細木ユニティ病院で勤務をしてきました。細木病院と隣接していましたが、いつの間にか病院間の交流は少なくなりました。うな感じを受けていました。しかし、その病院間をつないでいたのが、毎月発行される情報誌「じんせい」だと思っています。 「じんせい」は、執筆する先生方が季節ごとに流行する病気など医療情報を提供されていることや、仁生会のトピックス、病院以外の部署の情報を読むことで、「仁生会組織の一員として頑張らんと」と勇気づけにもなっています。また、施設内の催しなどの告知もタイムリーに伝えていただき、患者さんや地域の

方々、職員に参加を呼びかけることで「コミュニケーションツールとしての機能を高めるにも大変効果があると思います。やはり自分が参加した記事が載ればうれしいものであるし、その話題で職員間の会話もはずみです。また、細木理事長の「時事エッセー」や、年頭時の「今年の年男年女」など、特に私の楽しみもなっています。



じんせい	338~340号 細木 庸子 仁生会 本部長
じんせい	341~343号 野瀬 一央 細木ユニティ病院 医療技術部長
じんせい	344~346号 竹垣 康幸 ほそぎ東部クリニック 事務長
どんせい	347~349号 野々村 美代之 三愛病院 薬剤室長
じんせい	350~352号 深田 順一 三愛病院 院長
じんせい	353~355号 栗坂 昌宏 細木病院 脳疾患センター長
じんせい	356~358号 堀見 忠司 細木病院 院長
じんせい	359~361号 栄田 美智子 三愛病院 臨床検査室長
じんせい	362~364号 片岡 博康 細木病院 用度課長
じんせい	365~367号 池 三二雄 三愛病院 放射線室長
じんせい	368~370号 笹山 史衛 細木病院 南1病棟看護師長
じんせい	371~373号 岡崎 郁子 細木ユニティ病院 看護部長
じんせい	374~376号 楠瀬 恭子 細木病院 臨床検査室長
じんせい	377~379号 井上 富美 細木病院 医療安全管理者
じんせい	380~382号 谷山 智砂 三愛病院 愛2病棟看護師長

じんせい
題字変遷
(301号~400号)

どんせい	301号 細木 秀美 仁生会 理事長
じんせい	302~307号 小林 誠 細木病院 副院長
じんせい	308~310号 西岡 達矢 細木病院 診療部長
じんせい	311~313号 松澤富子 細木病院 看護部長
じんせい	314~316号 上西恵美子 ほそぎ東部クリニック 看護師長
じんせい	317~319号 田中 照夫 細木病院 医療技術部長・薬剤室顧問
じんせい	320~322号 岡部 今朝美 細木ユニティ病院 在宅部長
じんせい	323~325号 吉川 賢一 細木ユニティ病院 院長
じんせい	326~328号 楠瀬 正哲 三愛病院 放射線室長
どんせい	329~331号 松田 幸彦 細木ユニティ病院 副院長
じんせい	332~334号 山本 憲治 ほそぎ東部クリニック 院長
じんせい	335~337号 中村 千里 細木病院 地域連携推進センター 連携情報管理室長

じんせい

395～397号
上田 祐二
細木病院
副院長

Jinsei

398～400号
細木 信吾
仁生会副理事長・
細木病院副院長・
ハートセンター長



じんせい

383～385号
藤原奈津子
細木ユニティ病院
US5病棟看護長

じんせい

386～388号
上地 一平
細木病院
副院長

じんせい

389～391号
小島すみ江
日高クリニック
看護師長

じんせい

392～394号
吉岡 隆興
細木病院
副院長・こころのセンター長

じんせい400号刊行に寄せて

～印刷会社：株式会社高知新聞総合印刷より～

私の人生と共に歩んでいます

山下 裕一 (株)高知新聞総合印刷 商用印刷本部 営業部長



致します。情報誌じんせいに私が仕事で携わって早27年になります。こんなにも長い間、印刷をさせていただき誠にありがとうございます。心より感謝を申し上げます。

近年デジタル時代が日々進歩していく中、印刷物の需要は減

情報誌 少をしていき、印刷物を手に取った温もりを感じられることが少なくなっています。印刷物の良さは一目に全体の紙面が見え、見出文字等が視覚に飛び込んできて文章を読む気持ち

を前向きにさせます。その思いを感じられる印刷物が情報誌じんせいです。細木理事長様と編集担当 木下様の紙面に対する思い入れが強く反映をされています。文字の書体、レイアウト、色調等、読者の方にも分かりやすくお願います。また、編集に携わった皆様に御礼を申し上げますと共にじんせい500号を目指して日々がんばりますので、今後ともよろしくお願いたします。

読みやすい紙面作りを心掛けて

中平あさみ (株)高知新聞総合印刷 制作本部 制作部



じんせい あります。どうすれば読みやすい400号おめでとつございませぬが、写真の位置や大きさはこれでいいか、タイトルは目に付きやすいかなど、考えれば考えるほど頭の中で思い描いたようなレイアウトにならないことも多く、何度やり直しては時間だけが過ぎてしまい、自分の力不足を痛感しています。もっと紙面作りについて勉強し、努力しなければと思っています。

制作しながら、貴院の新たな取り組みやさまざまな活動の記事に読み入ってつい手が止まってしまうこともしばしばあります。毎号大変興味深く読ませていただいています。

平成29年10月号から「じんせい」の制作を引き継ぎました。記事を一つレイアウトするたびに、前任者に色々と質問をしながら制作していたことをよく覚えております。気が付けば2年半ほどたちましたが、いまだにレイアウトや配色に悪戦苦闘して